

茨木親子芸術文化講座

おうちであそぼう! あそびのレシピ

vol.4

主催: 茨木市 デザイン/監修: 親子であそぼう! ufufu
※親子であそぼう! ufufuでは絵本からはじまるワークショップkin!!の活動を行なっています

1



貼る材料は身近にあるもので大丈夫いろいろ探してみてね!



気持ちを伝える メダルをつくるう

おうちにいることが多くて、親子で過ごす時間が増えましたね。この時間を使って親子で普段できないことに挑戦したり、子どもはたくさんお手伝いしたり頑張りましたね。お外であそべないのを我慢もしましたね。今回は親子でお互い「ありがとう」や「よく頑張ったね」の言葉を添えて気持ちを伝えるメダルをつくりましょう。メダルをもらうのって、おとなも子どももなんだか誇らしくて、嬉しいですね。

STEP 1 メダルの台紙になるダンボールの片面全部に水で溶いたボンドを塗るか両面テープを貼ります。

その上に用意した材料を自由に置いて貼り付けます。材料を貼るときは重なりすぎないように注意しましょう。貼り付けた材料が台紙からはみ出していたら、台紙に合わせて切り揃えてください。

STEP 2 貼り付けた材料の上からメダルより少し大きめのアルミホイルを用意して覆いかぶせます。上から丁寧にアルミホイルを破らないように押さえてください。床に置いて子どもの足で踏むとちょうどいい感じで貼り付けた材料の型が現れますよ。メダルの表面の完成です。

STEP 3 メダルの大きさから、はみ出たアルミホイルは1cm程残して丸く切り揃え、ハサミで切り込みを入れて、台紙の形に合わせて裏面に折り曲げ、ボンドで貼り付けてください。

STEP 4 首から掛けるリボンを台紙の裏側に貼り付けます。その上からメダルより少し小さめの色紙を貼ればメダルの完成です。



「ぼくのすきなやりかた」「わたしのすきなやりかた」
偕成社 五味太郎作

絵本からはじまる親子時間。

まずはあそびにあった絵本を読んであげましょう。

絵本の世界であそんだら、今度はやってみよう!作ってみよう!

お母さんとぼく。おうちで一緒に過ごす時間が増えれば、あれこれ気になるお互いのこと。同じ事をするにしても、二人はずいぶんやり方が違う…お母さんとぼく、2冊一緒に聞いて同時に読んでみると、見えてくるお互いのこと。そうだったんだ!なるほどね。わかってくれれば気にならない?おうち時間を快適に過ごすきっかけになりそうな楽しい2冊です。



2



3



まるいところは切れ込みを入れると貼りやすくなるよ。



QRコードを読み込むと遊び方の動画が見れるよ!



メダルの裏にリボンを貼たらその上から色紙を貼りましょう。
気持ちを伝えるメッセージを書くのもいいですね!



【用意するもの】

メダルの土台になる丸いダンボール
(お菓子の箱など) /アルミホイル/
メダルと同じ大きさの色紙または色画用紙/
ボンドまたは両面テープ/ハサミ/リボン/



紙片/チチチ/リボンや毛糸/
糸/輪ゴム/織目のある布/
ケーキの下に敷いてあるラースペーパー/
などなど...1mm以内の厚さのものならなんでも

育まれる力

「ありがとう」や「よく頑張ったね」という言葉を人から言われると心地よいものです。日常の些細な場面でその心地よさを子どもにも体験させてあげましょう。感謝の言葉や人を思いやる言葉は心がともなってこそ相手に伝わります。大切なのは、その言葉と一緒に、感謝の心を育むことです。目の前に「あなた」がいることに喜び、「あなた」の存在そのものに感謝している気持ちを伝えることで子どもの心は満たされ、人にも同じように感謝することができるようになります。